

グローバル・アグリカルチャー & フード 株式ファンド

運用報告書（全体版）

第4期（決算日 2026年7月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル・アグリカルチャー&フード株式ファンド」は、2026年7月27日に第4期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年7月29日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・アグリカルチャー&フード株式ファンド	「グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・アグリカルチャー&フード株式ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

<654702>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率			
(設定日)	円	円		%	%	%	百万円
2022年7月29日	10,000	—		—	—	—	2,581
1期(2023年7月26日)	10,208	0		2.1	90.7	3.7	22,393
2期(2024年7月26日)	9,793	0		△ 4.1	88.2	6.0	11,013
3期(2025年7月28日)	9,379	0		△ 4.2	96.8	0.7	7,259
4期(2026年7月27日)	11,060	0		17.9	93.7	—	4,525

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比	純 資 産 額
		騰 落	率			
(期 首)	円		%	%	%	%
2025年7月28日	9,379	—	—	96.8	0.7	0.7
7月末	9,289	△	1.0	97.2	0.7	0.7
8月末	9,316	△	0.7	96.6	0.6	0.6
9月末	9,165	△	2.3	96.2	0.9	0.9
10月末	9,160	△	2.3	97.7	1.0	1.0
11月末	9,325	△	0.6	95.6	—	—
12月末	9,386		0.1	98.6	—	—
2026年1月末	10,028		6.9	98.6	—	—
2月末	10,626		13.3	96.6	—	—
3月末	10,821		15.4	94.2	—	—
4月末	10,740		14.5	96.0	—	—
5月末	10,568		12.7	96.3	—	—
6月末	10,371		10.6	95.5	—	—
(期 末)						
2026年7月27日	11,060		17.9	93.7	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

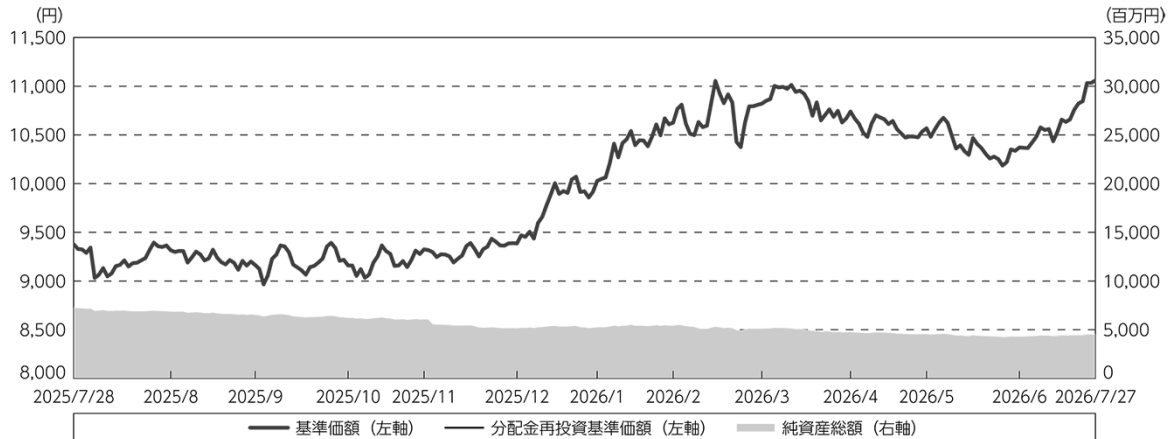
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2025年7月29日～2026年7月27日)

期中の基準価額等の推移



期 首：9,379円

期 末：11,060円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：17.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年7月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として「グローバル・アグリカルチャー＆フード株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・主に期間の前半、米連邦準備制度理事会(FRB)が利下げしたことが、株式市場を全体的に下支えする要因となったこと。
- ・天候不順による供給懸念から穀物価格が反発し、アグリカルチャー＆フード関連銘柄の株価を下支えする要因となったこと。

<値下がり要因>

- ・農産物が米中関税交渉の主要議題の一つとなり、先行き不透明な状況となったこと。
- ・穀物在庫が豊富ななか、全体的な供給過剰が意識され、投資家の様子見姿勢が強まったこと。
- ・市場の関心がA I（人工知能）関連銘柄に集中するなか、ハイテク関連銘柄が選好され、アグリカルチャー&フード関連銘柄に対する市場の関心が後退したこと。

投資環境

（株式市況）

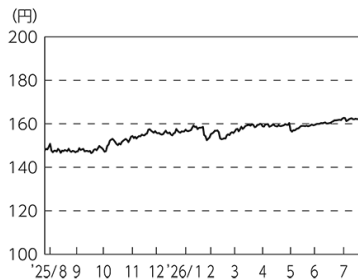
当期間の世界株式市場は、F R Bによる利下げが好感されたほか、A I 関連やデータセンターへの巨額投資の発表などを受け、半導体関連銘柄が主導する形で上昇基調となりました。一方、中東での紛争勃発に伴ない、ホルムズ海峡封鎖への懸念や原油価格の急騰を受けて投資家心理が悪化したことで、2026年3月には株式市場が大きく下落する場面も見られました。しかしその後、米国とイランが停戦に合意したこと、ハイテク関連企業の決算が良好な内容となったことを受けて投資家心理は好転し、A I 関連銘柄などが主導する形で、世界の株式市場は概ね堅調に推移しました。

アグリカルチャー&フード関連銘柄の株価は、まちまちの結果となりました。背景には、市場の関心がA I 関連銘柄に集中する一方、農産物が米中関税交渉の主要議題の一つとなるなど、供給過剰への懸念が意識され、投資家の様子見姿勢が強まったことなどがありました。一方で、2026年に入ると、異常気象の影響による南米の干ばつリスクが意識されるなか、天候不順に伴う供給懸念から穀物価格が反発し、アグリカルチャー&フード関連銘柄を買い戻す動きも見られました。しかしその後は、中東紛争に伴うサプライチェーン（供給網）の混乱や、原油価格が大きく上下するなど先行き不透明感が強まったこともあり、アグリカルチャー&フード関連銘柄の株価は跛行性のある展開となりました。

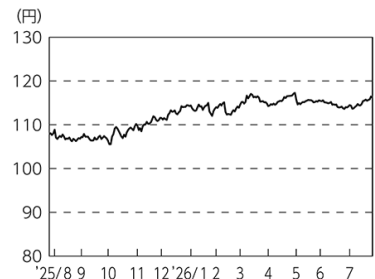
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／カナダドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル・アグリカルチャー＆フード株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(グローバル・アグリカルチャー＆フード株式マザーファンド)

当ファンドでは、農業や食料の未来をリードするイノベーションに注目し、世界的な人口増加と気候変動がもたらす食糧危機問題の解決に貢献することが期待されるアグリカルチャー＆フード関連銘柄を厳選して運用を行なっています。

なお、各銘柄は、「農業イノベーション」、「フード・エボリューション」、「再生力のある経済」の3つの投資カテゴリーに分類しています。

期間中、主に「農業イノベーション」および「再生力のある経済」の投資カテゴリーに属する銘柄の株価が堅調に推移した一方で、「フード・エボリューション」の投資カテゴリーに属する銘柄の株価が軟調となりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項 目	第4期
	2025年7月29日～ 2026年7月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,059

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・アグリカルチャー＆フード株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローバル・アグリカルチャー＆フード株式マザーファンド)

農業や食料の未来をリードするイノベーションに注目し、世界的な人口増加と気候変動がもたらす食糧危機問題の解決に貢献することが期待されるアグリカルチャー＆フード関連銘柄を厳選して運用を行ないます。

なお、各銘柄は、「農業イノベーション」、「フード・エボリューション」、「再生力のある経済」の3つの投資カテゴリーに分類しています。

世界気象機関は、エルニーニョ現象（太平洋赤道域の中・東部で海面水温が平年より高くなる気象現象）の発生を受け、熱波や豪雨などの異常気象の発生確率が高まるとみています。その結果、農産物の生産量や収穫量に影響を及ぼすリスクがあるとして、当ファンドでは注視しています。また、海上貿易の要衝であるホルムズ海峡の航行を巡っては、依然として不安定な状況が続いており、肥料の国際価格に対する上昇圧力がさらに強まることも予想されます。こうした環境下では、農産物の供給リスク拡大が懸念され、また農産物価格だけでなく、各企業の事業内容によって影響度が大きく異なる可能性があるともみており、引き続き慎重に見極めていく方針です。

異常気象や地政学リスクなど、当戦略にとって不透明な環境が続くことが予想されますが、農業と食料関連株式に対する長期的な見通しは明るいとの見方に変わりありません。増加する人口に食料を供給するための解決策が必要であり、政府や企業、消費者の意識が高まるなか、益々重要な課題になると考えます。農業・食料システムの改善に向けた我々の見方に変わりはなく、農業の重要性を考えれば、農業・食料分野におけるイノベーションは続くものと期待しています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 7 月29日～2026年 7 月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 180	% 1.816	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(94)	(0.954)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(81)	(0.823)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.109	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0.108)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.001)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	6	0.059	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(6)	(0.059)	
(d) そ の 他 費 用	18	0.184	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(10)	(0.104)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(3)	(0.031)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標準使用料など
(そ の 他)	(4)	(0.045)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	215	2.168	
期中の平均基準価額は、9,899円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

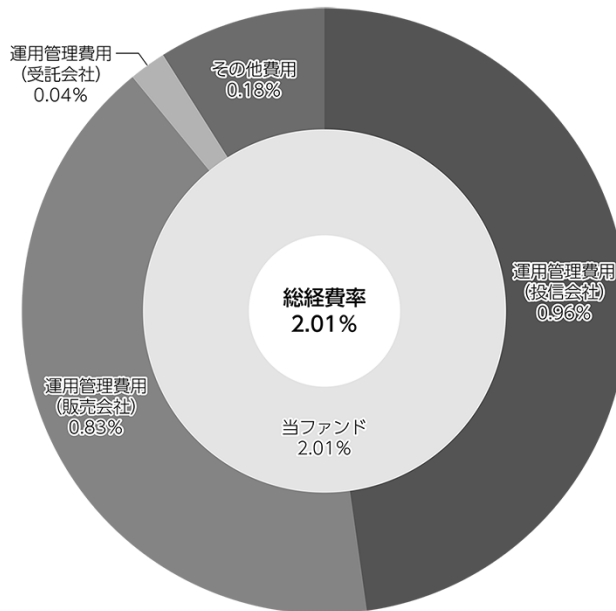
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。ただし、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年7月29日～2026年7月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・アグリカルチャー＆フード株式マザーファンド	64,789	72,503	3,571,005	3,707,338

○株式売買比率

(2025年7月29日～2026年7月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グローバル・アグリカルチャー＆フード株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	16,669,143千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,424,128千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.07

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2025年7月29日～2026年7月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年7月29日～2026年7月27日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年7月29日～2026年7月27日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年7月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド	7,257,654	3,751,439	4,471,340

(注) 親投資信託の2026年7月27日現在の受益権総口数は、3,751,439千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年7月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド	4,471,340	97.5
コール・ローン等、その他	116,715	2.5
投資信託財産総額	4,588,055	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,018,176千円)の投資信託財産総額(4,543,064千円)に対する比率は88.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=163.69円、1カナダドル=116.24円、1ユーロ=186.61円、1イギリスポンド=218.54円、1スイスフラン=200.82円、1ノルウェークローネ=17.11円、1デンマーククローネ=24.96円、1オーストラリアドル=114.53円、1香港ドル=20.87円、1インドルピー=1.71円、1サウジアラビアリヤル=43.70円、1香港・オフショア人民元=24.1804円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年7月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,588,055,312
コール・ローン等	102,644,347
グローバル・アグリカルチャー＆フード株式マザーファンド(評価額)	4,471,340,476
未収入金	14,067,702
未収利息	2,787
(B) 負債	62,700,253
未払解約金	16,818,416
未払信託報酬	44,026,825
その他未払費用	1,855,012
(C) 純資産総額(A－B)	4,525,355,059
元本	4,091,810,976
次期繰越損益金	433,544,083
(D) 受益権総口数	4,091,810,976口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,060円

(注) 当ファンドの期首元本額は7,740,127,205円、期中追加設定元本額は507,278,239円、期中一部解約元本額は4,155,594,468円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.1060円です。

○損益の状況 (2025年7月29日～2026年7月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	534,882
受取利息	534,882
(B) 有価証券売買損益	760,477,821
売買益	941,182,987
売買損	△180,705,166
(C) 信託報酬等	△102,092,221
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	658,920,482
(E) 前期繰越損益金	△257,687,292
(F) 追加信託差損益金	32,310,893
(配当等相当額)	(9,427,500)
(売買損益相当額)	(22,883,393)
(G) 計(D＋E＋F)	433,544,083
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	433,544,083
追加信託差損益金	32,310,893
(配当等相当額)	(10,317,535)
(売買損益相当額)	(21,993,358)
分配準備積立金	401,233,190

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2025年7月29日～2026年7月27日の期間に当ファンドが負担した費用は29,127,789円です。

(注) 分配金の計算過程(2025年7月29日～2026年7月27日)は以下の通りです。

項 目	2025年7月29日～ 2026年7月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	69,770,863円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	317,138,046円
c. 信託約款に定める収益調整金	32,310,893円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	14,324,281円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	433,544,083円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,059円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2025年7月29日から2026年7月27日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
 - ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。（第59条）
- 当ファンドについて、「一般社団法人投資信託協会」の合併に伴ない、その記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更すべく、2026年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第8条、第22条、第23条、第29条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル・アグリカルチャー&フード株式マザーファンド

運用報告書

第4期（決算日 2026年7月27日）
（2025年7月29日～2026年7月27日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2022年7月29日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、農業（アグリカルチャー）や食料（フード）などに関連するビジネスを行なう企業の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。
株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。
外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<639178>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 式 率	投 証 資 信 託 入 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落	中 率			
(設定日)	円		%	%	%	百万円
2022年 7 月29日	10,000	—	—	—	—	2,516
1 期(2023年 7 月26日)	10,400	4.0	91.4	3.8	22,214	
2 期(2024年 7 月26日)	10,161	△ 2.3	89.1	6.1	10,901	
3 期(2025年 7 月28日)	9,906	△ 2.5	97.7	0.7	7,189	
4 期(2026年 7 月27日)	11,919	20.3	94.8	—	4,471	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		株 組 入 比	式 率	投 証 組	資 入	信 比	託 券 率
				騰	落 率						
	(期 首)		円		%		%				%
	2025年7月28日		9,906		—		97.7				0.7
	7月末		9,811		△ 1.0		98.1				0.7
	8月末		9,854		△ 0.5		97.3				0.6
	9月末		9,709		△ 2.0		97.2				0.9
	10月末		9,720		△ 1.9		98.7				1.0
	11月末		9,910		0.0		96.6				—
	12月末		9,992		0.9		99.4				—
	2026年1月末		10,699		8.0		99.3				—
	2月末		11,358		14.7		97.5				—
	3月末		11,586		17.0		95.0				—
	4月末		11,517		16.3		97.0				—
	5月末		11,347		14.5		97.3				—
	6月末		11,153		12.6		96.4				—
	(期 末)										
	2026年7月27日		11,919		20.3		94.8				—

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2025年7月29日～2026年7月27日)

基準価額の推移

期間の初め9,906円の基準価額は、期間末に11,919円となり、騰落率は+20.3%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・主に期間の前半、米連邦準備制度理事会（FRB）が利下げしたことが、株式市場を全体的に下支える要因となったこと。
- ・天候不順による供給懸念から穀物価格が反発し、アグリカルチャー＆フード関連銘柄の株価を下支える要因となったこと。

<値下がり要因>

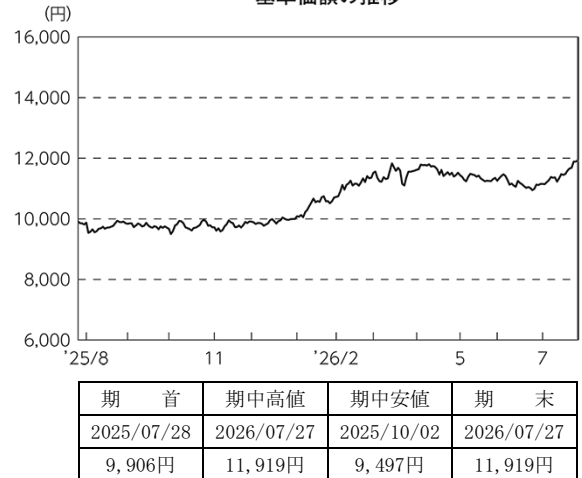
- ・農産物が米中関税交渉の主要議題の一つとなり、先行き不透明な状況となったこと。
- ・穀物在庫が豊富ななか、全体的な供給過剰が意識され、投資家の様子見姿勢が強まったこと。
- ・市場の関心がA I（人工知能）関連銘柄に集中するなか、ハイテク関連銘柄が選好され、アグリカルチャー＆フード関連銘柄に対する市場の関心が後退したこと。

(株式市況)

当期間の世界株式市場は、FRBによる利下げが好感されたほか、A I関連やデータセンターへの巨額投資の発表などを受け、半導体関連銘柄が主導する形で上昇基調となりました。一方、中東での紛争勃発に伴ない、ホルムズ海峡封鎖への懸念や原油価格の急騰を受けて投資家心理が悪化したことで、2026年3月には株式市場が大きく下落する場面も見られました。しかしその後、米国とイランが停戦に合意したこと、ハイテク関連企業の決算が良好な内容となったことを受けて投資家心理は好転し、A I関連銘柄などが主導する形で、世界の株式市場は概ね堅調に推移しました。

アグリカルチャー＆フード関連銘柄の株価は、まちまちの結果となりました。背景には、市場の関心がA I関連銘柄に集中する一方、農産物が米中関税交渉の主要議題の一つとなるなど、供給過剰への懸念が意識され、投資家の様子見姿勢が強まったことなどがありました。一方で、2026年に入ると、異常気象の影響による南米の干ばつリスクが意識されるなか、天候不順に伴う供給懸念から穀物価格が反発し、アグリカルチャー＆フード関連銘柄を買い戻す動きも見られました。しかしその後は、中東紛争に伴うサプライチェーン（供給網）の混乱や、原油価格が大きく上下するなど先行き不透明感が強まったこともあり、アグリカルチャー＆フード関連銘柄の株価は跛行性のある展開となりました。

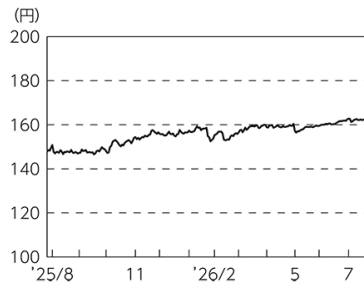
基準価額の推移



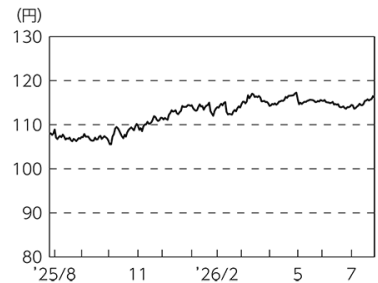
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／カナダドルの推移



ポートフォリオ

当ファンドでは、農業や食料の未来をリードするイノベーションに注目し、世界的な人口増加と気候変動がもたらす食糧危機問題の解決に貢献することが期待されるアグリカルチャー&フード関連銘柄を厳選して運用を行なっています。

なお、各銘柄は、「農業イノベーション」、「フード・エボリューション」、「再生力のある経済」の3つの投資カテゴリーに分類しています。

期間中、主に「農業イノベーション」および「再生力のある経済」の投資カテゴリーに属する銘柄の株価が堅調に推移した一方で、「フード・エボリューション」の投資カテゴリーに属する銘柄の株価が軟調となりました。

○今後の運用方針

農業や食料の未来をリードするイノベーションに注目し、世界的な人口増加と気候変動がもたらす食糧危機問題の解決に貢献することが期待されるアグリカルチャー&フード関連銘柄を厳選して運用を行ないます。

なお、各銘柄は、「農業イノベーション」、「フード・エボリューション」、「再生力のある経済」の3つの投資カテゴリーに分類しています。

世界気象機関は、エルニーニョ現象（太平洋赤道域の中・東部で海面水温が平年より高くなる気象現象）の発生を受け、熱波や豪雨などの異常気象の発生確率が高まるとみています。その結果、農産物の生産量や収穫量に影響を及ぼすリスクがあるとして、当ファンドでは注視しています。また、海上貿易の要衝であるホルムズ海峡の航行を巡っては、依然として不安定な状況が続いており、肥料の国際価格に対する上昇圧力がさらに強まることも予想されます。こうした環境下では、農産物の供給リスク拡大が懸念され、また農産物価格だけでなく、各企業の事業内容によって影響度が大きく異なる可能性があるかとみており、引き続き慎重に見極めていく方針です。

異常気象や地政学リスクなど、当戦略にとって不透明な環境が続くことが予想されますが、農業と食料関連株式に対する長期的な見通しは明るいとの見方に変わりありません。増加する人口に食料を供給するための解決策が必要であり、政府や企業、消費者の意識が高まるなか、益々重要な課題になると考えます。農業・食料システムの改善に向けた我々の見方に変わりはなく、農業の重要性を考えれば、農業・食料分野におけるイノベーションは続くものと期待しています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 7 月29日～2026年 7 月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円 12	% 0.110	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0.109)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.001)	
(b) 有 価 証 券 取 引 税	6	0.060	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(6)	(0.060)	
(c) そ の 他 費 用	16	0.150	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
(保 管 費 用)	(11)	(0.105)	
(そ の 他)	(5)	(0.045)	
合 計	34	0.320	
期中の平均基準価額は、10,554円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年7月29日～2026年7月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 212	千円 667,769	千株 320	千円 944,958
外	アメリカ	百株 3,209 (-)	千アメリカドル 18,738 (△ 23)	百株 4,853	千アメリカドル 31,079
	カナダ	335 (63)	千カナダドル 1,834 (92)	1,204 (-)	千カナダドル 5,767 (92)
	ブラジル	4,319	千ブラジルレアル 4,290	4,319	千ブラジルレアル 3,434
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	195	981	289	1,203
	フランス	74	198	-	-
	オランダ	108	199	108	200
	フィンランド	294	281	707	1,008
	アイルランド	66	496	140	1,057
	スイス	46 (-)	315 (△ 4)	127	888
	イギリス	125	千イギリスポンド 633	207	千イギリスポンド 1,087
	スイス	52	千スイスフラン 642	129	千スイスフラン 1,152
	ノルウェー	245	千ノルウェークローネ 12,056	1,018	千ノルウェークローネ 25,821
	デンマーク	-	千デンマーククローネ -	140	千デンマーククローネ 5,391
	オーストラリア	1,052	千オーストラリアドル 721	2,714	千オーストラリアドル 905
	香港	21,635	千香港ドル 17,511	14,955	千香港ドル 13,813
	インド	9,101	千インドルピー 50,800	10,082	千インドルピー 111,704
	サウジアラビア	1,371	千サウジアラビリアル 10,446	974	千サウジアラビリアル 5,983
	イスラエル	442	千イスラエルシェケル 745	1,174	千イスラエルシェケル 2,185
	中国オフショア	14,583	千香港・オフショア人民元 32,233	17,436	千香港・オフショア人民元 40,413

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千アメリカドル	口	千アメリカドル
	AMERICOLD REALTY TRUST INC	12,940	180	32,244	412

(注) 金額は受け渡し代金。

○株式売買比率

(2025年7月29日～2026年7月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	16,669,143千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,424,128千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.07

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2025年7月29日～2026年7月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年7月29日～2026年7月27日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2026年7月27日現在)

国内株式

銘柄		期首(前期末)	当期		期末
		株数	株数	評価額	
水産・農林業 (12.2%)		千株	千株	千円	
ニッスイ		58.5	41.2	53,251	
食料品 (38.6%)					
日清製粉グループ本社		—	27.5	57,048	
日本ハム		10.7	12.4	79,174	
味の素		41.5	—	—	
ニチレイ		70.5	15	32,932	
機械 (49.2%)					
クボタ		97.6	74.7	215,322	
合計	株数・金額	278	170	437,729	
	銘柄数<比率>	5	5	<9.8%>	

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄		期首(前期末)	当期末		業種等	
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカドル	千円	
AGCO CORP		—	50	608	99,620	資本財
ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO		—	260	2,237	366,331	食品・飲料・タバコ
BUNGE GLOBAL SA		73	123	1,501	245,840	食品・飲料・タバコ
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC		200	136	1,710	280,005	素材
CNH INDUSTRIAL NV		718	628	700	114,699	資本財
CORTEVA INC		576	254	2,268	371,252	素材
DARLING INGREDIENTS INC		561	124	776	127,156	食品・飲料・タバコ
DEERE & CO		56	29	1,832	300,039	資本財
FMC CORP		180	126	142	23,398	素材
INTL FLAVORS & FRAGRANCES		218	—	—	—	素材
INGREDION INC		131	75	758	124,159	食品・飲料・タバコ
JBT MAREL CORP		27	—	—	—	資本財
LINDSAY CORP		78	—	—	—	資本財
MOSAIC CO/THE		240	331	738	120,915	素材
VALMONT INDUSTRIES		49	—	—	—	資本財
ZOETIS INC		54	32	241	39,579	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SEABOARD CORP		—	0.49	231	37,813	食品・飲料・タバコ
ANDERSONS INC/THE		92	—	—	—	生活必需品流通・小売り
BALCHEM CORP		112	13	221	36,191	素材
CAL-MAINE FOODS INC		71	—	—	—	食品・飲料・タバコ
MISSION PRODUCE INC		298	—	—	—	食品・飲料・タバコ
VITAL FARMS INC		86	—	—	—	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,830 19	2,185 14	13,971 —	2,287,003 <51.1%>	
(カナダ)				千カナダドル		
MAPLE LEAF FOODS INC		757	128	359	41,769	食品・飲料・タバコ
NUTRIEN LTD		414	237	2,281	265,184	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,171 2	365 2	2,640 —	306,954 <6.9%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
BAYER AG-REG		99	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GEA GROUP AG		86	92	584	109,103	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	186 2	92 1	584 —	109,103 <2.4%>	
(ユーロ…フランス)						
BUREAU VERITAS SA		—	74	201	37,599	商業・専門サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	74 1	201 —	37,599 <0.8%>	
(ユーロ…フィンランド)						
STORA ENSO OYJ-R SHS		383	178	167	31,314	素材
UPM-KYMMENE OYJ		208	—	—	—	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	591 2	178 1	167 —	31,314 <0.7%>	
(ユーロ…アイルランド)						
KERRY GROUP PLC-A		103	29	241	45,017	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	103 1	29 1	241 —	45,017 <1.0%>	

銘柄		期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額	
				千ユーロ	千円	
(ユーロ…スイス) DSM-FIRMENICH AG		百株 81	百株 —	—	—	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	81	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	<— %>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	962	375	1,195	223,035	
	銘柄 数 < 比 率 >	6	4	—	<5.0 %>	
(イギリス) CRANSWICK PLC		165	84	千イギリスポンド 462	101,065	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	165	84	462	101,065	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<2.3 %>	
(スイス) GIVAUDAN-REG SGS SA-REG		— 93	0.62 16	千スイスフラン 198 152	39,792 30,697	素材 商業・専門サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	93	16	351	70,490	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	2	—	<1.6 %>	
(ノルウェー) BAKKAFROST P/F MOWI ASA SALMAR ASA YARA INTERNATIONAL ASA		122 1,224 — —	51 350 64 107	千ノルウェークローネ 2,280 6,923 3,254 4,919	39,027 118,466 55,682 84,180	食品・飲料・タバコ 食品・飲料・タバコ 食品・飲料・タバコ 素材
小 計	株 数 ・ 金 額	1,346	573	17,379	297,356	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	4	—	<6.7 %>	
(デンマーク) NOVONESIS (NOVOZYMES) B		140	—	千デンマーククローネ —	—	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	140	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	<— %>	
(オーストラリア) GRAINCORP LTD-A INGHAM'S GROUP LTD		— 2,097	434 —	千オーストラリアドル 236 —	27,141 —	食品・飲料・タバコ 食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	2,097	434	236	27,141	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<0.6 %>	
(香港) WH GROUP LTD		3,135	9,815	千香港ドル 8,195	171,040	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	3,135	9,815	8,195	171,040	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<3.8 %>	
(インド) BALRAMPUR CHINI MILLS LTD UPL LTD		458 987	— 465	千インドルピー — 28,022	— 47,918	食品・飲料・タバコ 素材
小 計	株 数 ・ 金 額	1,445	465	28,022	47,918	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	1	—	<1.1 %>	
(サウジアラビア) SABIC AGRI-NUTRIENTS CO SAUDI ARABIAN MINING CO		— —	57 339	千サウジアラビヤリヤル 714 1,976	31,212 86,384	素材 素材
小 計	株 数 ・ 金 額	—	397	2,691	117,596	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	2	—	<2.6 %>	
(イスラエル) ICL GROUP LTD		732	—	千イスラエルシェケル —	—	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	732	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	<— %>	
(中国オフショア) GUANGDONG HAID GROUP CO-A HENAN SHUANGHUI INVESTMENT-A		— —	313 640	千香港・オフショア人民元 1,510 1,595	36,525 38,580	食品・飲料・タバコ 食品・飲料・タバコ

銘柄		期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額 千円・オフショア人民元	邦貨換算金額 千円	
(中国オフショア)		百株	百株	千円		
HEILONGJIANG AGRICULTURE-A		—	1,059	1,261	30,497	食品・飲料・タバコ
JIANGSU LIHUA FOODS GROUP CO		1,424	—	—	—	食品・飲料・タバコ
MUYUAN FOODS GROUP CO LTD-A		1,672	501	1,937	46,858	食品・飲料・タバコ
WENS FOODSTUFFS GROUP CO-A		2,270	—	—	—	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	5,366	2,513	6,305	152,462	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	4	—	<3.4%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	20,486	17,227	—	3,802,066	
	銘柄 数 < 比 率 >	40	36	—	<85.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄のくゝ内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

2026年7月27日現在の組入れはございません。

銘柄	株数	期首(前期末)
		口数
(アメリカ)		口
AMERICOLD REALTY TRUST INC		19,304
合計	口数	19,304
	銘柄数	1

○投資信託財産の構成

(2026年7月27日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
株式	千円 4,239,795	% 93.3
コール・ローン等、その他	303,269	6.7
投資信託財産総額	4,543,064	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（4,018,176千円）の投資信託財産総額（4,543,064千円）に対する比率は88.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=163.69円、1カナダドル=116.24円、1ユーロ=186.61円、1イギリスポンド=218.54円、1スイスフラン=200.82円、1ノルウェークローネ=17.11円、1デンマーククローネ=24.96円、1オーストラリアドル=114.53円、1香港ドル=20.87円、1インドルピー=1.71円、1サウジアラビアリヤル=43.70円、1香港・オフショア人民元=24.1804円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年7月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,543,064,183
コール・ローン等	152,790,511
株式(評価額)	4,239,795,417
未収入金	145,631,710
未収配当金	4,845,793
未収利息	752
(B) 負債	71,559,624
未払金	57,491,922
未払解約金	14,067,702
(C) 純資産総額(A－B)	4,471,504,559
元本	3,751,439,279
次期繰越損益金	720,065,280
(D) 受益権総口数	3,751,439,279口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,919円

(注) 当ファンドの期首元本額は7,257,654,443円、期中追加設定元本額は64,789,862円、期中一部解約元本額は3,571,005,026円です。

(注) 2026年7月27日現在の元本の内訳は以下の通りです。
・グローバル・アグリカルチャー＆フード株式ファンド 3,751,439,279円

(注) 1口当たり純資産額は1.1919円です。

○損益の状況 (2025年7月29日～2026年7月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	112,157,541
受取配当金	111,990,649
受取利息	141,938
その他収益金	24,954
(B) 有価証券売買損益	813,446,737
売買益	1,612,642,218
売買損	△ 799,195,481
(C) 保管費用等	△ 8,709,187
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	916,895,091
(E) 前期繰越損益金	△ 68,209,721
(F) 追加信託差損益金	7,713,663
(G) 解約差損益金	△ 136,333,753
(H) 計(D＋E＋F＋G)	720,065,280
次期繰越損益金(H)	720,065,280

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2025年7月29日から2026年7月27日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第6条)
 - ②法定運用報告書の交付は行なわない旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、変更を行ないました。(第51条)
 - ③当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第53条)
- 当ファンドについて、「一般社団法人投資信託協会」の合併に伴ない、その記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更すべく、2026年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第8条、第20条、第21条、第27条)